

## 心得 **Do!** やるべからず

急激に加温する。手足を急激にマッサージする。

急激に手足をこすると冷たい体液が体幹に一度に流入するのでショックを引き起こす。



## POINT

- ・額や頬，手などに触れる。
- ・体温が35℃以下なら低体温症確定。
- ・体温が測れなくても処置する。

## 心得 **Do!** すべし

たとえ最初に低体温の人がいなくても，時間がたつにつれ状態の悪い人が避難所にやってくるので，保温できるものや暖房など，できる限りの準備をしておく。

## 8 クラッシュ症候群

### 【病態と原因】

クラッシュ症候群は，災害時に手足や体幹・腹部などが長時間圧迫を受け，筋肉細胞が崩壊するなどして細胞内からカリウムやミオグロビンが遊離し，急性腎不全や代謝性アシドーシスをきたす病態。

がれきの中から助け出された被災者などによく発生する。救出された人に，手足のしびれや茶褐色の尿，尿量の

減少、圧迫部位の腫脹などの症状があれば、クラッシュ症候群を考える。

### 【対応】

早期の血液透析やアシドーシスの治療をしないと生命の危険があるので、早期の専門医療機関の受診が必要。

## 9 急性循環不全

### 【病態と原因】

大量出血、脱水、心疾患（心不全・心筋梗塞・不整脈）、敗血症（肺炎・胆嚢炎・膀胱炎など）、腎不全、多臓器不全、クラッシュ症候群が原因で起こる。次のような症状を観察する。

- 脈が速く・弱くなる。
- 顔面が蒼白になる。
- 意識がもうろうとなる。
- 呼名反応などが鈍くなる。

### 【対応】

- ファウラー位をとる。
- 下肢の挙上を行う。
- 経口摂取が可能ならスポーツドリンクを飲ませる。
- 点滴や強心剤の投与ができる環境（医療機関）への搬送。
- 心停止になった場合は、心臓マッサージを行う。